平成２８年度　第２回　小金井市食育推進会議　会議録（案）

日　　時　　平成２８年１０月２５日（火）午後２時～午後４時
場　　所　　保健センター　２階　講堂
出席委員　　１４人
会　長　　南　　道　子　委員
委　員　　酒　井　文　子　委員　　雀　部　かおり　委員
髙　木　有　希　委員　　鳥　羽　浩　子　委員
松　嶋　あおい　委員　　島　﨑　聡　子　委員
小　林　美　香　委員　　廣　繁　理　美　委員
佐久間　育　子　委員　　鈴　木　祥　江　委員
土　屋　直　己　委員　　松　井　太　平　委員
渡　辺　　悟　委員
欠席委員　　２人
志　田　尚　紀　委員　　菊　谷　　武　委員

事務局職員
健康課長　　當　麻　光　弘
健康課係長　　平　岡　美　佐
健康課主任　　田　中　昌　子
健康課健康係　　牧　野　　恵

傍聴者　　なし

（午後２時開会）

○南会長　　皆さん、こんにちは。定刻を過ぎましたので、始めさせていただきたいと思います。

本日はお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。

それではこれより、平成２８年度第２回小金井市食育推進会議を開催させていただたきます。

初めに、委員の出欠に関して事務局の方からお願いいたします。

○平岡係長　　本日の委員の方々の出欠でございますが、志田委員、菊谷委員が欠席になっておりますので、本日ご出席の方が１４名いらっしゃいます。

過半数を超えてございますので、審議会として成立することをご報告申し上げます。

続きまして配布資料の確認をさせていただきます。

この度、資料が事前に送付できずに大変申し訳ございませんでした。机上に、まず「食育

市民アンケート調査報告書（案)」という分厚い冊子ですね。それからクリップ止めをしております「次第」が先頭にきているもので、一枚おめくりいただくと「食育推進の基本的な考え方の骨子案」が書かれております。それから「施策実施状況調査票」が両面刷りのものがはさんでございます。最後に１部追加で、本日刷りました「食育施策に該当する事業」を１枚つけさせていただいてございます。また「策定スケジュール」を資料１として、前回と同じものを一応スケジュールの目安にということで再度配布をさせていただいてございます。また皆様から頂戴しましたチラシ等でございます。まず、口腔リハビリテーションの菊谷先生から「食事にかかわる地域資源情報を検索できます」というチラシを預かってございます。また「東京都食育フェア」のチラシ、また「農業祭のお知らせ」が大きいものと小さいものそれぞれ２枚ございます。

資料が足りない方はいらっしゃいますでしょうか。もし途中でお気づきの方がいらっしゃいましたら、お手をあげていただければ、事務局の方でご準備致しますのでお知らせくださいませ。以上です。

〇南会長　　ありがとうございました。

では、議事に入る前に、事前に皆様のところに送付されています、議事録案ですね。ご自分の内容をチェックしていただいていますでしょうか。

訂正されている方は、訂正がきちんと反映されているか、確認していただきたいのですけれども、もし何か訂正がありましたら会議終了後に事務局の方までお願いいたします。

では、まず「食育市民アンケート」の結果についてです。事務局の方から説明をお願いいたします。

〇田中主任　　それでは、「第３回食育市民アンケート調査報告書（案)」をご覧いただけますか。

調査概要についてです。３ページ目をお開きください。

調査目的ですが、平成２８年度までを計画期間とする小金井市食育推進計画の見直しにあたり、市民の食に関する意識や行動の変化を把握し、今後の小金井市の食育のあり方を検討するための基礎調査として本調査を実施いたしました。調査対象及び調査方法につきましては、一般市民調査が対象者数を２，０００人とし、平成２８年８月１日を基準日として、市内在住の満１８歳以上の市民に無作為抽出したデータをもとに、郵送によりアンケートを送付しました。小・中学生調査につきましては、市内小中学校各２校の小学４年生、中学１年生・３年生の象者数８３２人に、アンケートを配布いたしました。調査期間につきましてはご覧のとおりです。回答状況につきまして、一般市民調査は配布数が２，０００、回収数が８０４、回収率４０．２％となっております。小・中学生調査につきましては、配布数８３２、回収数７８８、回収率が９４．７％となっております。

報告書の読み方についてなのですが、各設問に対し、全体的な結果を示し、下段に年代別・性別等クロス集計結果で傾向のみられる点を記述してあります。各回答は、各設問の回答者数を基数として％で示してあります。割合は小数点第２位以下を四捨五入し小数点第１位

で表示しており、合計が１００％にならない場合がございます。複数回答の設問は、回答が回答者全体に対しての比率であるため、各割合の合計は１００％を超える場合がございます。

調査結果をご報告したいと思います。７ページをお開きください。

まず、一般市民調査についてです。回答者の状況です。問１「あなたの性別をお答えください」。全体では「男性」が３８．３％、「女性」が６１．２％で、女性の方が多くなっております。

問２「あなたの年齢をお答えください」という項目では、全体では「７０歳以上」が２３．３％で最も多く、「６０歳代」が１８．５％、「４０歳代」が１８．４％、「５０歳代」が１５．９％、「３０歳代」が１４．６％となっております。

８ページにいきまして問３「あなたの身長と体重を記入してください」という項目では、ＢＭＩ値「１８．５～２２．０未満」が４３．４％、「２２．０～２５．０未満」が２８．０％で、合わせると７１．４％の市民が標準という結果になっております。

問４「あなたの職業についてお答えください」。全体で「会社員・公務員・団体職員（常勤)」が３６．８％と最も多く、次に「家事専業」が２５．０％となっております。

ページをめくっていただきまして、問５です。「同居人について当てはまるものをお答えください」。全体では「配偶者」が６７．９％と最も多く、「子ども」が４５．０％、「同居人はいない」が１２．６％、「母」が１１．６％、「父」が９．１％と続き、配偶者または子どもと暮らしている方が多いのがわかります。

ページをめくって問６にいきまして「主に家で食事を用意する人は誰ですか」という項目では、全体では「自分」が５８．６％と半数以上であり、次に「配偶者」が３７．４％で多くなっております。

問７にいきまして、「あなたは食物アレルギーがありますか」という項目では、全体では「いいえ」が８８．１％と大半を占め、「はい」が８．６％となりました。年代別で特筆すべき差異はみられませんでした。

ページをめくっていただきまして、１４ページ「朝食について」です。問８「あなたはふだん朝食を食べますか」という項目では、全体では「ほとんど毎日食べる」が８３．８％と大半を占め、「ほとんど食べない」は７．６％でした。年代別では、年代が上がるほど「ほとんど毎日食べる」が多くなる一方、年代が下がるほど「ほとんど食べない」が多くなり、１０・２０歳代では１８．７％となっております。職業別では、学生で「ほとんど毎日食べる」と回答した方が７２．７％と全体と比べると少なく、「週に２～３日食べない」と回答した方が１８．２％と全体と比べて多くなっております。また「食育」への関心別では、関心がないと回答した人で「ほとんど毎日食べる」が６６．７％と少なく、「ほとんど食べない」が１６．７％と若干多くなっております。

問８－２「いつ頃から朝食を食べなくなりましたか」という項目では、全体では「２０歳代」が３１．１％、「高校を卒業した頃から」が２２．３％で、１８歳から２０歳代で５割

以上となっております。

ページをめくっていただきまして、問８－３「朝食を食べない最も大きな理由は何ですか」という項目では、全体では「食欲がわかないから」が３１．１％、「時間がないから」と「朝食を食べるより寝ていたいから」がともに２２．３％となっております。年代別では、１０・２０歳代で「朝食を食べるより寝ていたいから」が、５０～６０歳代で「食欲がわかないから」が、全体の年代より多くなっております。

問８－４「朝食で主食に何をよく食べますか」という項目では、全体では「食パン・ロールパン」が４５．９％と約半数を占め、「ごはん」が３８．７％と次に多くなっております。年代別では、１０・２０歳代で「ごはん」が最も多くなっており、「食パン・ロールパン」が少なく「菓子パン・調理パン」が全体と比べて多くなっております。

問８－５「朝食で主食以外に主に何をよく食べますか」いう項目では、全体では「ヨーグルト」が３８．８％と一番多く、次に「卵料理」が３４．５％となっております。「食育」への関心別では、どちらかといえば関心がない、あるいは関心がないと回答した人で「おかずはあまり食べない」が約２割と全体より若干多くなっています。

ページをめくっていただいて、問９「あなたはふだん、誰と朝食・昼食・夕食を食べますか」という項目では、朝食で、全体で「家族」と答えた方が５４．４％と半数を超えていました。「ひとり」と回答した方が３６．４％でした。食事に対する気持ち別では、できれば家族や友人と食べたいと回答した人で「家族」と食べている人が６３．８％と多くなっていますが、「ひとり」も３割程度います。ひとりで食べたいと回答した人では「家族」で食べている人が１７．１％と少なく、「ひとり」で食べている人が７７．１％と約８割を占めていました。

昼食の共食状況につきましては、全体では、「ひとり」で食べている方が４０．９％と多くなっています。

ページをめくっていただいて、２０ページ、夕食の共食状況ですが、全体では「家族」で食べている方が６８．８％と約７割を占めており、「ひとり」が２０．９％でした。

問９－２「食事をする時の自分の気持ちに近いものはどれですか」という項目では、全体では「特に考えたことはない」が４６．３％と一番多く、次に「できれば家族や友人等と食べたい」が４５．６％、「ひとりで食べたい」は４．４％となりました。

次のページ、「昼食について」です。問１０「あなたは昼食をふだんどのようにとっていますか」。全体では「その他」が一番多く４６．５％となり、次に「コンビニエンスストアなどで買ってきて食べる（宅配弁当も含む）」が２７．６％、「お弁当（持参したもの）」が２１．３％、「飲食店などに行き、そこで食べる」が２０．０％となりました。

ページをめくっていただいて、問１０－２「（問１０で「１」～「２」の方）昼食にかける金額は、平均していくらくらいですか」という項目では、全体では「３００円～５００円未満」が一番多く２９．７％、「７００円～１，０００円未満」が２９．４％、「５００円～７００円未満」が２８．２％となっています。

２３ページ「食事全般について」です。問１１「あなたは間食をすることはありますか」という項目では、全体では「ほとんどしない」が３９．３％、「ほぼ毎日１回程度する」が３５．３％、「ほぼ毎日１回」と「毎日２回以上」を合わせると４３．１％の人が毎日間食の習慣があるということがわかりました。

ページをめくっていただいて、問１２「あなたは、主食（ごはん、パン、めん類など）を１日に合計でどのくらい食べていますか」という項目では、全体では「３つ分」と答えた方が３４．２％と一番多くなっております。目安量が１日４～６つ分でありますので、合計しますと、６４．７％の人が主食が足りていないという結果になりました。

問１３「ここ２日間の牛乳またはヨーグルトの摂取量はどのくらいですか」。全体では「牛乳１杯程度（ヨーグルト２個）」が３３．１％と一番多く、「ヨーグルト１個程度」が１９．０％、「ほとんどとらない」が１６．０％と、足りていない人が合わせて３５．０％程度となっております。

問１４「ここ２日間の朝食・昼食・夕食のうちで、和食のみの食事を何回食べましたか」。全体では「１～２回」が４９．３％と約半数を占めており、「３～４回」が３０．６％、「０回」が１２．７％、「５～６回」が５．３％となっております。

ページをめくっていただいて、問１５「あなたは、主菜（肉・魚などを使ったメイン料理のこと）を食べる時、一緒に野菜をどのくらい食べていますか」という項目では、全体では「小鉢１皿程度」が４２．２％と一番多く、「小鉢２皿程度」が３３．０％、「小鉢３皿以上」が１０．６％、「付け合わせ程度」が９．６％となっております。野菜が十分足りている「小鉢に２皿以上」の方は合わせて４３．６％と半数近い方が足りているという結果になりました。

２７ページ「外食について」、問１６「あなたは夕食を外食することがありますか」という項目では、全体では「月１回程度」が２９．６％、「外食しない」が２９．５％、「週１回程度」が２４．１％、「週２～３回程度」が１０．７％となっております。年代別では、１０・２０歳代で「週１回程度」と「週２～３回程度」が多く、若年層で外食が多いということがわかります。ＢＭＩ値別では、やせの人で「外食しない」が４１．１％と全体より多くなっていました。

次のページ、問１６－２「外食（夕食）は誰と行きますか」という項目では、全体では「家族」が６４．６％と６割を超えて一番多くなっております。

問１７「あなたは外食をする時、何に重点をおいて選んでいますか」という項目では、全体では「味・おいしさ」が７６．６％と最も多く、次いで「価格」が４５．３％、「栄養のバランス」が２８．７％、「安全性」が１７．０％となりました。年代別では、１０・２０歳代が「栄養のバランス」が、７０歳以上で「価格」が全体よりも少なくなっています。「食育」への関心別では、関心が低くなるほど「栄養のバランス」を選択する人が少なくなり、関心があると回答した方は４１．８％に対し、どちらかといえば関心がない、あるいは関心がないと回答した人で「栄養のバランス」を選択した方は１割以下となっております。

ページをめくっていただいて、問１８「あなたはコンビニエンスストアを利用することがありますか」という項目では、全体では「週１回程度」が２４．３％、「週２～３回程度」が２０．８％、「月１回程度」が１７．９％となっております。年代別では、年代が上がるほど「ほぼ毎日」と選択する方が少なくなる傾向がみられ、１０・２０歳代で２６．７％に対し、７０歳以上では２．７％となっています。

問１８－２「あなたはコンビニエンスストアで何を買いますか」という項目では、全体では「飲み物」が一番多く６８．４％、次いで「パン類（サンドイッチ、菓子パン、おにぎり、肉まん等)」が５６．９％となりました。

３３ページの問１８－３「あなたはコンビニエンスストアで食べ物を買う時、何に重点をおいて選んでいますか」という項目では、全体では「味・おいしさ」を選択する人が一番多く６１．１％、次いで「価格」が４３．１％となりました。「安全性」については１７．６％、「栄養のバランス」が１６．３％、「量」が１５．４％となっております。

３５ページ、「野菜の購入について」です。問１９「市内で採れた野菜を買うことはありますか。」という項目では、全体では「時々買う」が一番多く３２．５％、「たまに買う」が２２．０％、「ほとんど買わない」が２０．４％となっております。「いつも買う」「時々買う」「たまに買う」という、買うと選択した方は６３．６％となっております。年代別では、年代が上がるほど買う人の割合が多くなる傾向がみられました。また、年代が下がるほど「売っていることを知らない」という回答をした方が多く、１０・２０歳代では２４．０％となっております。

３６ページ、問２０「小金井産の野菜と聞いて思い浮かぶ野菜があれば記入してください」という項目では、1位は「小松菜」で一番多く、次いで「ナスまたは寺島ナス」、3位は「トマト・ミニトマト・プチトマト」でした。

問２１「あなたはふだん野菜を買う時に配慮していることはありますか」という項目では、全体では「鮮度」と回答した方が一番多く８０．５％でした。次いで「価格」が５８．１％、「国産のもの」５８．０％、「産地」が３７．７％、「無農薬・減農薬のもの」が３０．１％で、「特に配慮していない」と回答した方は３．５％にとどまりました。３０～４０歳代では「価格」と選択した方が全体よりも多く、７０歳以上では「価格」と選択した人が少なく「無農薬・減農薬のもの」と選択した方が多くなっております「食育」への関心別では、関心度が低くなるほど「鮮度」「国産のもの」「産地」を配慮する割合が全体よりも少なくなりました。

３８ページ、「食育に関する意識について」です。問２２「あなたは、『食育』という言葉やその意味を知っていますか」。全体では「言葉も意味も知っている」が５８．６％と約6割を占め、「言葉は知っているが、意味は知らない」が３４．５％、「言葉も意味も知らない」が５．７％となりました。年代別では、１０・２０歳代では「言葉も意味も知っている」と回答した方が全体よりも少なく３７．３％となっております。世帯構成別では、単身者で「言葉も意味も知っている」と回答した方が少なくなっており、４７．５％となっております。

問２３「毎月１９日は食育の日ということを知っていますか」、問２４「毎年６月は食育月間であるということを知っていますか」という項目では、食育の日と月間について認知度は低い結果となりました。

ページをめくっていただいて、問２５「食育には多くの内容が含まれていますが、小金井市において市民が中心となって進めていくとしたら、どのようなことに関心がありますか」という項目では、全体では「食品の安全性に関する理解」が５３．６％で半数以上を占めており、「食生活・食習慣の改善」が４４．５％と次いで多く、健康に関する「食育」に関心が高い様子がうかがえました。

問２６「あなたは、『食育』に関心がありますか」という項目では、全体では「どちらかといえば関心がある」と回答された方が４３．８％で多く、「どちらでもない」が２２．３％、「関心がある」が１９．７％となっております。「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計は６３．５％となり６割以上の市民が「食育」に関心があることがわかりました。年代別では、４０～５０歳代で関心のある割合が多くなっており、１０～３０歳代で関心のない割合が多くなっております。

問２６－２「食育に関心がある」「どちらかというと関心がある」方にお聞きした項目で「あなたが『食育』に関心がある理由は何ですか」です。全体では「心身の健全な発達のために必要だから」が６４．５％と一番多く、次いで「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」が４３．７％となっております。

問２６－３「あなたはどのような食育活動に参加してみたいと思いますか」という項目では、全体では「生活習慣病予防などのための料理教室」が４０．０％と一番多く、「食生活の改善に関する活動」が２９．６％でした。年代別では、１０・２０歳代で「食育に関する国際交流活動」が多く、３０歳代で「生活習慣病予防などのための料理教室」、「食生活の改善に関する活動」、「郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動」が多い結果となりました。

ページをめくっていただいて、問２７「あなたは学校で食育を受けた経験がありますか」という項目では、全体では「ない」が５４．２％と半分を占めており、「ある」が２９．１％、「わからない」が１３．９％となっております。

問２８「食に関する知識が増えれば、今の自分の食生活がより良いものになると思いますか」という項目では、全体では「そう思う」が４３．７％、「まあそう思う」が４２．０％で、合わせると８５．７％と、８割以上の市民がより良いものになると思っております。

問２９「あなたは小金井市が食育活動をしていることを知っていますか」。全体では「知らない」が８４．３％で多くを占め、「知っている」は１３．８％となりました。こちらは、食育活動という意味がわかりにくかったということも考えられ、非常に低い認知度となりました。

ページをめくっていただいて、問２９－２で、問２９で「知っている」と答えた方に「実際に行なったことがあるもの」を聞いております。こちらは、問２９の項目で、「知っている」「知らない」という回答ではなく、直接、問２９－２で各事業について「知っている」

「知らない」「行ったことがある」というふうに質問をすればよかったということが反省点です。

問３０「あなたは、食に関するボランティア活動やサークル活動をしたことがありますか」。全体では「ない」が９５．５％で大半を占め、「ある」は２．９％でした。

ページをめくっていただきまして４８ページ、問３０－２「あなたが、食に関するボランティア活動やサークル活動をしない理由は何ですか」という項目では、全体では「やりたいと思ったことがないから」が４１．９％、「時間等の余裕がないから」が３９．８％、「やりたいと思っているが情報がないから」が１３．８％となっております。年代別では、１０・２０歳代で「やりたいと思ったことがないから」を選択する方が全体よりも多くなっております。

問３１「食品産業や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して『もったいない』と感じることがありますか」。全体では「いつも感じている」が５１．６％、「しばしば感じている」が４１．９％で、合わせると９３．５％の市民がもったいないと感じているという結果になりました。一方、「全く感じていない」と「あまり感じていない」の合計の、感じていない割合は４．６％となりました。「食育」への関心別では、関心が高いほど「もったいない」と感じている方が多くなり、関心があると回答した人で９６．２％に対し、関心がないと回答した人では８３．４％となっております。

問３２「あなたの身近な飲食店や食品売り場、職場の給食施設・食堂などは、栄養バランスのとれたメニューを提供していると思いますか」。全体では「半々くらいが提供していると思う」が４４．３％、「提供している所は少ないと思う」が３７．３％、「ほとんどが提供していると思う」が１３．９％となっております。「半々くらいが提供していると思う」「ほとんどが提供していると思う」と答えた方を合わせると５８．８％、約半数以上の市民が栄養バランスのとれたメニューを提供していると考えております。

問３３「家庭における『食育』についてどのようなことを行なっていますか」。「①「日本型食生活」を実践している」については、全体では、当てはまる（「当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計）が７３．６％。年代別では１０・２０歳代と４０歳代で当てはまらない人が多く、６０歳代で当てはまる人が多いという結果になりました。

隣のページにいきまして、「②野菜摂取量を増やしている」という項目については、全体では、当てはまる（「当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計）が８５．７％とこちらは高い割合となりました。年代別では、１０・２０歳代では当てはまらない方が多いことに対し、年齢が上がるほど当てはまると回答した方が多くなっています。

ページをめくりまして、５２ページ「③油の多いものは控える」。全体では、当てはまる（「当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計）が６８．０％となり、こちらも年代別では、年代が上がるほど「当てはまる」と回答された方が多くなる傾向がみられます。

「④家族や友人と食卓を囲み楽しみながら食事をする」という項目では、全体では、当てはまる（「当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計）が６８．８％、当てはまらない

（「全く当てはまらない」と「あまり当てはまらない」の合計）が２５．１％となっております。年代別では、年代が上がるほど「当てはまる」と回答する方が少なくなる傾向がみられ、１０・２０歳代では当てはまる人が多く、若い世代の方が食事の場をコミュニケーションの場として活用していることがわかります。

「⑤正しい箸の持ち方ができる」は、全体では、当てはまる（「当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計）が８１．２％となりました。

「⑥食事前後にあいさつをしている」は、全体では、当てはまる（「当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計）が７０．６％となりました。

次のページになりまして、「⑦食事の仕度や片づけを自分でしている」は、全体では、当てはまる（「当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計）が７９．０％となりました。

問３４「あなたは、家庭における『食育』によって、自分自身が良い食習慣を身につけられましたか」という項目では、全体では、「まあまあできている」が一番多く５４．５％と半数を占めております。「できている」と「まあまあできている」の合計は７１．８％となりました。「食育」への関心別では、関心が高いほどできている人が多くなり、関心があると回答した人で８３．６％に対し、関心がないと回答した人は５７．２％という結果になりました。

ページをめくっていただいて、問３５「あなたは、家庭における「食育」によって、配偶者や子ども等の周りの人に、良い食習慣を身につけさせることができていると思いますか」という項目では、全体では、「まあまあできている」が４８．６％で約半数を占め、「あまりできていない」が２７．２％となっております。「できている」と「まあまあできている」の合計は５８．２％で、年代別では、１０・２０歳代で「できていない」と回答する人が多くなっております。

問３６「あなたは食事を残さず食べますか」という項目では、全体では「残さない」が６７．０％で、「たまに残すことがある」が２６．０％、「よく残す」が２．７％、「毎回残すことが多い」が０．５％となっております。

問３６－２「あなたはどのくらいの量を残していますか」とういう項目では、全体では、「小鉢１杯程度」が４６．２％、「ごく少量」が４２．３％と多くなっております。

ページをめくっていただいて、（８）「献立とあなたの食生活について」問３７「学校の家庭科の授業で学んだことが、あなたの食生活で役に立っていると思いますか」という項目では、全体では「あまりそう思わない」が３２．５％と一番多く、「まあそう思う」が２３．９％、「あまりそう思わない」が１８．３％となっていました。「そう思う」と「まあそう思う」の合計は３４．１％でした。年代別では、１０・２０歳代では「そう思う」と回答する方が多くなっており、学んでからの記憶が新しく実際に生かせていることがうかがえます。

問３８「あなたの身についている食事マナーや作法はどこで教わりましたか」という項目では、全体では、「親等の家族に教わった」と回答する方が８３．２％と大半を占めております。

問３９「家庭または地域で教えてもらった料理はありますか」という項目では、全体では「ある」が５１．４％、「ない」が４３．２％で、「ある」が若干多くなっております。男女別では、男性で「ある」が３５．１％に対し、女性で６１．６％と女性の方が多くなっております。

ページをめくっていただいて、問３９－２「料理名を教えてください」です。家庭または地域で教えてもらった料理については、１位は「煮物」、２位は「カレーライス」、３位が「みそ汁」となっております。

問４０「あなたの家庭では、正月や節句などの行事食を年にどのくらい作りますか」。全体では「１～２回」と回答された方が４１．４％と一番多く、次いで「３～４回」が２２．４％、「５～６回」が９．７％、「全く作らない」が９．６％となりました。７８％以上の人が「年に１回以上は作る」という結果になっております。

問４１「あなたがふだん食事について、最優先することは何ですか」。全体では「栄養のバランス」が３８．６％と一番多く、次いで「その時に何を食べたいか（家族の意向も含む）」が３３．１％となりました。それ以外の項目は全て１割に満たないという結果でした。年代別では、１０・２０歳代で「価格」と「その時に何を食べたいか（家族の意向も含む）」が多く、「栄養のバランス」が少なくなっております。ＢＭＩ値別では、ＢＭＩ２５以上の肥満の方は「栄養のバランス」と回答された方が２８．１％と全体よりも少なくなっています。「食育」への関心別では、関心があると回答した方で「栄養のバランス」が５５．７％と全体よりも多く、どちらかといえば関心がない、あるいは関心がないと回答した方が１５％前後と少ない結果となりました。

ページをめくっていただいて、問４２「あなたは食事の準備をする時、何を参考にしていますか」という項目では、全体では「インターネット」が３９．６％と一番多く、次いで「雑誌・料理本」が３５．８％となりました。年代別では、１０～４０歳代で「インターネット」と回答する方が多くなっており、６０歳代以上では少なくなっております。

問４３「あなたはジュースや清涼飲料水等の甘い飲み物を１週間に平均どのくらい飲みますか」という項目で、「①缶コーヒー」は、全体では、毎日飲む（「ほぼ毎日飲む」と「１日２本以上」の合計）は５．２％となりました。年代別では、１０・２０代で毎日飲むと回答された方が全体よりも若干多く、９．３％となっております。

ページをめくっていただいて、「②野菜ジュース」については、全体では、毎日飲む（「ほぼ毎日飲む」と「１日２本以上」の合計）は６．９％でした。年代別では、こちらも１０・２０歳代で毎日飲む人が全体よりも若干多くなっており９．３％となっております。

「③果汁飲料」については、全体では、毎日飲む（「ほぼ毎日飲む」と「１日２本以上」の合計）が２．６％となっております。年代別では、１０・２０歳代で「週に１～２本」と回答する方が３６．０％と多くなっています。

隣のページの「④乳酸菌飲料」につきましては、全体では、毎日飲む（「ほぼ毎日飲む」と「１日２本以上」の合計）が１０．９％と、甘い飲料の中で一番頻繁に飲む人が多いとい

う結果になりました。年代別では、年代が高いほど飲む頻度が高い傾向がみられ、毎日飲むと回答した方が６０歳代で１２．１％、７０歳以上で２１．４％となりました。

ページをめくっていただいて、「⑤炭酸飲料」は、全体では、毎日飲む（「ほぼ毎日飲む」と「１日２本以上」の合計）が４．６％でした。ＢＭＩ値別では、やせているほど「ほとんど飲まない」と回答する方が多くなり、やせで６４．９％に対し、肥満の方は５３．９％となっております。

「⑥スポーツドリンク等」につきましては、毎日飲むと回答された方が全体では、２．３％でした。年代別では、毎日飲む人が３０歳代で３．５％、６０歳代で３．７％と若干多くなっております。

「⑦栄養ドリンク」につきましては、全体では、毎日飲むと回答された方が２．０％でした。

ページをめくりまして、問４４「次の各々の項目について、改善したいと思いますか」の「①栄養バランスのとれた食事をする」については、全体では、「改善したい」と回答した方が５２．１％と半数を超えており、「できているので改善しない」が３５．９％、「改善するつもりはない」は８．８％でした。年代別では、１０～３０歳代で「改善したい」が多く、７０歳以上では「改善したい」が少なく、「できているので改善しない」が多くなっております。ＢＭＩ値別では、やせているほど「改善したい」が少なく、「できているので改善しない」が多くなっており、やせている人は栄養バランスがとれている人が多いということがわかりました。職業別では、学生で「改善したい」が７７．３％と多くなっており、「できているので改善しない」が１３．６％と少なくなっております。

「②１食につき副菜（野菜類）を１～２皿食べる」は、全体では、「改善したい」が４４．４％、「できているので改善しない」が４２．９％でほぼ同率になっており、「改善するつもりはない」と回答された方は９．０％で、野菜を多く食べていることがわかりました。ＢＭＩ値別では、やせているほど「改善したい」と回答する方が少なく、「できているので改善しない」が多くなる結果となっております。ここでも、やせている人は副菜が足りている人が多いのがわかります。職業別では、学生で「改善したい」が５９．１％と多く、「できているので改善しない」が１８．２％と少なくなっています。

ページをめくっていただいて、「③うす味を心がける（塩分を控える）」という項目では、全体では、「改善したい」が４２．９％、「できているので改善しない」が４２．３％となりました。年代別では、３０歳代と５０歳代で「改善したい」、７０歳以上で「できているので改善しない」と回答された方が多くなっています。１０・２０歳代では「改善するつもりはない」と回答された方が多く、濃い味を好むことがわかります。ＢＭＩ値別では、やせているほど「改善したい」と回答する方が少なく、「できているので改善しない」が多くなっており、やせている人はうす味の人が多い傾向になりました。

「④適正体重を維持する」は、全体では、「改善したい」が５０．９％と約半数を占め、「できているので改善しない」が３９．７％、「改善するつもりはない」は７．１％でした。

年代別では、３０歳代で「改善したい」が多くなっており、７０歳以上で「改善したい」と答えた方が少なくなっております。

ページをめくっていただいて、「⑤牛乳・乳製品を毎日２００ｇ程度摂る」は、全体では、「できているので改善しない」が４７．１％と一番多く、「改善したい」が３０．６％、「改善するつもりはない」は１８．７％でした。年代別では、１０・２０歳代で「改善したい」が多く、「できているので改善しない」が少ない結果となりました。ＢＭＩ値別では、やせているほど「改善したい」が少なく、「できているので改善しない」が全体よりも多くなっており、ここでもやせている人は乳製品を１日の適正量の２００ｇ摂取されている人が多いという結果になりました。

「⑥果物を毎日１００ｇ程度食べる」は、全体では、「改善したい」と「できているので改善しない」が４０．２％で同率となっており、「改善するつもりはない」は１６．８％です。ＢＭＩ値別では、やせているほど「改善したい」が少なく、「できているので改善しない」が全体より多くなっており、やせている人は果物が十分とれているという結果になりました。

７４ページの「⑦食事時間を規則正しくする」は、全体では、「できているので改善しない」が５３．９％と半数以上を占め、「改善したい」が３１．３％、「改善するつもりはない」は１２．１％となりました。

「⑧水分補給は、水かお茶にする」は、全体では、「できているので改善しない」が６５．３％と６割以上を占め、「改善したい」が２１．０％、「改善するつもりはない」は１１．１％となりました。年代別では、年代が上がるほど「できているので改善しない」と答えた方が多くなっております。ＢＭＩ値別では、やせているほど「改善したい」が少なく、「できているので改善しない」も多くなっており、こちらもやせている方の方が水分補給は無糖のものにしている割合が多いという結果になりました。

「⑨自炊をする」は、全体では、「できているので改善しない」が６４．８％と６割以上を占め、「改善したい」が１７．８％、「改善するつもりはない」は１３．２％でした。ＢＭＩ値別では、やせているほど「改善したい」が少なく、「できているので改善しない」が多くなっています。「食育」への関心別では、どちらかといえば関心がない、あるいは関心がないと回答した人で「改善するつもりはない」が３割前後で、全体と比べておよそ２倍の方がいることがわかります。

「⑩食事はゆっくりよく噛んで食べる」は、全体では、「改善したい」が４６．１％、「できているので改善しない」が４１．０％、「改善するつもりはない」が１０．２％となっています。

ページをめくっていただいて、「⑪食事を『噛む』、『飲み込む』が問題なくできる」という項目では、全体では、「できているので改善しない」が７５．１％と７割以上を占め、「改善したい」が１７．０％、「改善するつもりはない」が５．３％となっております。

問４５「このアンケートについてご意見・ご感想などあればご自由にお書きください」と

いう項目では、一番多かったのは、「アンケートをすることで、自分の食生活を振り返ることができた」というご意見でした。

次に、小中学生調査の結果の方になります。

７９ページです。小学生・中学生に対しアンケートを行ったのですが、中学生が７７．２％で多数を占めております。性別につきましては、男性が４９．２％、女性が４９．４％とほぼ同じくらいになっております。

８０ページの「朝ごはんについて」で、問４「（１）ふだん、朝ごはんを食べていますか」という項目では、全体では「ほとんど毎日食べる」が９１．６％で、多数を占めました。ふだんの睡眠時間別では、「５時間より少ない」と回答した方は「ほとんど毎日食べる」が７３．３％と少なく、「ほとんど食べない」が１３．３％と多くなっていることから、睡眠時間が十分でないと朝食摂取は少ないということがわかります。

問４「（２）上の設問で、朝ごはんを週２～３日食べない、週４～５日食べない、ほとんど食べないを選んだ方。食べない理由は何ですか」という項目では、全体では「時間がない」が６３．５％と多く、「食欲がわかない」が５０．８％、「朝食を食べるより寝ていたい」が３８．１％となりました。小学生は「時間がない」、「食欲がわかない」がともに半数という結果になりました。中学生は「時間がない」が６６．０％と特に多い結果になりました。

ページをめくっていただいて、問５「朝ごはんは何をよく主食に食べますか」という項目では、全体では「食パン・ロールパン」が６４．１％と一番多く、「ごはん」が５９．０％と続いております。

問６「朝ごはんで主食と一緒によく食べるおかずは何ですか」という項目では、全体では「卵」が４０．７％、次いで「ハム・ウインナー」が３１．２％となっております。

ページをめくっていただいて、問７「ふだん、家ではだれかといっしょに朝ごはんを食べていますか」いう項目では、全体では「だれかといっしょに食べることが多い」が４９．５％とほぼ半数を占め、「一人で食べることが多い」が３３．４％となっております。小学生は「だれかといっしょに食べることが多い」と回答した方が６０．６％と多くなっております。

問８「朝ごはんを食べる時の自分の気持ちに近いものはどれですか」。全体では「出来れば家族といっしょに食べたい」が４４．８％、「一人で食べたい」が３４．５％になりました。小学生は「出来れば家族といっしょに食べたい」と選択した方が５６．７％と多く、「友人等といっしょに食べたい」が２６．１％で続いています。「一人で食べたい」と選択した方は１２．８％でした。中学生は「出来れば家族といっしょに食べたい」と「一人で食べたい」が、ともに４０％程度となりました。

朝ごはんの共食状況別にみると、「だれかといっしょに食べることが多い」と回答した方は、「出来れば家族といっしょに食べたい」が６５．６％と全体より２０％以上多いのに対し、「一人で食べたい」と選択した方は１１．３％と全体より２０％以上少なくなっております。

「夕ごはんについて」の問９「ふだん、家ではだれかといっしょに夕ごはんを食べていま

すか」。全体では「だれかといっしょに食べることが多い」と回答した方が７４．６％と多数になります。小学生は「だれかといっしょに食べることが多い」が８８．３％と特に多く、「一人で食べることが多い」と回答した方はみられません。このことから、朝食よりも夕食の方が、共食状況が多くある結果となりました。

ページをめくっていただいて、問１０「夕ごはんを食べる時の自分の気持ちに近いものはどれですか」。全体では「出来れば家族といっしょに食べたい」が５７．６％と多く、「友人等といっしょに食べたい」が２３．５％、「一人で食べたい」は１５．２％でした。朝ごはんの共食に対する意識別にみると、朝ごはんを「出来れば家族といっしょに食べたい」と回答した人は、夕ごはんも「出来れば家族といっしょに食べたい」が８６．７％と大半を占め、「一人で食べたい」は２．０％にとどまっています。朝ごはんを「一人で食べたい」と回答した人は、夕ごはんも「一人で食べたい」と選択した方が４０．４％と多くなっていますが、「出来れば家族といっしょに食べたい」と選択した方も３９．３％とほぼ同じ割合みられています。朝食を一人で食べたい子どもでもその半数については、夕食は家族との共食を望んでいる結果になりました。

「（４）食事全般について」の問１１「家で食事の準備、料理、後片付けを手伝いますか」。全体では「ときどきする」が３１．５％、「よくする」が２９．１％、「ほとんどしない」は２４．１％となっております。小学生は「よくする」が３５．０％と多く、「ときどきする」「たまにする」を含めると、８７．２％がお手伝いをするという結果になりました。中学生は「ときどきする」が３２．１％と多い一方、「ほとんどしない」も１４．５％とやや多くなっております。

問１２「平日に、１日で主食と主菜と副菜のそろった食事を何回していますか」。全体では「２回」が５０．１％、次いで「３回」が４２．９％となりました。小学生は「１回（給食のみ）」が６．７％と全体よりやや多く、「３回」は３７．２％と全体よりやや少なくなっております。ふだんの体の調子別にみると、「朝すっきり目覚められる」と回答した方は「３回」朝食と昼食、夕食に主食と主菜と副菜のそろった食事をしている人が５０．０％とやや多く、逆に「朝すっきり目覚められない」と回答した方は「３回」と回答した方が３７．７％とやや少ない結果となりました。

ページをめくっていただいて、「（５）自分の体について」です。こちらは中学生についてのみの結果となります。問１３「今までに食べ物を少なくして体重を減らしたことがありますか」。「ない」が８３．２％で、ほとんどを占めている一方、１５．１％が「ある」と回答しております。

問１４「自分の身長と体重を、分かる範囲で、ご記入下さい」。肥満度でみてみると、「ふつう（－１０％～１０％未満）」が４４．７％と約半数を占めております。「やせぎみ（－２０％～－１０％未満）」が２９．８％、「やせすぎ（－２０％未満）」が９．７％、「太りぎみ（１０％～２０％未満）」が４．８％、「肥満（２０％以上）」が２．８％となっております。「やせぎみ」と「やせすぎ」の子を合わせると、３９．５％、約４割がやせ体型となってお

ります。性別でみると、男子は「やせぎみ」や「やせすぎ」が４３．７％、女子は合わせて３６．４％となっており、男子の方がやせ体型の割合が多くなっております。

問１５「自分の体型をどう思いますか」。「普通だと思う」が５５．３％と多い一方で、「太っていると思う」も２７．８％と３割近くみられました。「やせすぎ」または「肥満」の人は自分の体型についての意識と肥満度が比較的合致している一方で、「やせぎみ（－２０％～－１０％未満)」の人は「普通だと思う」が６８．０％と最も多く、「ふつう（－１０％～１０％未満)」の人で「太っていると思う」が３５．７％と約３割を占めており、自分の体型を実際の体型よりも太めに評価している人も多いということがわかりました。

ページをめくっていただいて、問１６「自分の体重についてどう思いますか」。「ちょうど良いと思う」と回答した方が４４．６％、「もっとやせたいと思う」は４０．３％とほぼ同じ割合でした。「今までに食べ物を少なくして体重をへらしたことがある」と回答した人では、「ちょうど良いと思う」が１８．５％、「もっと太りたいと思う」が５．４％と、どちらも全体の半分以下の割合となっており、逆に「もっとやせたいと思う」が７１．７％と全体より３０％以上多くなっております。

問１７「ふだんの体の調子についてあてはまるもの」。全体では「体のちょうしはよい」が６１．４％と多く、「朝すっきり目覚められない」「眠いことが多い」が５２．０％前後で続いております。小学生は「体のちょうしはよい」が７６．７％と特に多く、「朝すっきり目覚められる」と回答した方も４７．８％と多くなっております。中学生は「眠いことが多い」「体のちょうしはよい」「朝すっきり目覚められない」がそれぞれ５７．０％前後で多くなっております。１日の主食と主菜と副菜の揃った食事の回数が「１回（給食のみ)」と回答した人は、「朝すっきり目覚められる」が１５．８％と少なく、「朝すっきり目覚められない」が６８．４％、「眠いことが多い」が６３．２％、「疲れやすい」が５０．０％と全体よりも多くなっております。

ページをめくっていただいて、「(６) ふだんの生活について」という項目です。問１８「ふだんの睡眠時間はどのくらいですか」。全体では「７時間より多い」が３４．０％と多く、次いで「６～７時間の間」が３３．５％、「５～６時間の間」が２３．０％で続いており、小中学生については睡眠時間が少なめなことがうかがえます。

問１９「給食は残さず食べますか」という項目では、全体では「いつも残さず食べる」が２４．５％となっております。

問２０「家での食事は残さず食べますか」という項目では、全体では「いつも残さず食べる」が２８．９％と多くなっており、「だいたい残さず食べる」は１５．５％となっています。家での食事の方が、給食よりも残さずに食べていることがわかりました。

報告については以上です。

○平岡係長　　補足をさせていただきたいと思います。

既存の食育推進計画が今お手元にある方は１３ページをお開きください。取組みの指標でございます。今回のアンケートを受けまして、ざっと指標と比較してみますと、「食育の言

葉や意味を知っている」という質問で６割の方が「知っている」ということで、７０％以上の市民には達しておりませんが、指標が高い目標を設定してございますので、かなり目標値には近づいているかなという実感を受けております。

また「毎日きちんと朝食を食べる」が１００％の市民を目指しておりますが、大体８割の方が朝食を食べ、小中学生におきましては９１．６％の方が朝食を召し上がっているということでございます。

「家族と一緒に食事をする」につきましては、夕食は７４．６％、朝食は４９．５％と一般目標には届きませんが、こちらをいかにあと３割、２割の方を押し上げるかというところが焦点になってくるかと思います。

４番の「子どもがよい食習慣を家庭で身につける」というところでございます。こちらは６割の方がご家庭の中で食育で子どもたちに伝えられているとご回答を頂戴しております。また、親世代の方ご自身がご家庭の中での食育で身につけたものがあると、７割以上の方がそういった経験をお持ちであるということで、かなり指標よりもよい結果となりました。

５番の「食事のバランス等に気をつける」についてでございます。こちらは小中学生アンケートでは、主菜・副菜のバランスのとれた食事を１日３回食べている方が４２．９％、また改善意欲のある一般の市民の方は５２．１％ということで、若干目標値には届かなかったものの、既にもう改善をされていることで食のバランスはとっているという方が３割を超えている状況でございます。

６番目の「食生活に地産地消を取り入れる」ということで、市内の野菜を召し上がったことがあるという方が６割半ば、６３．６％の方が召し上がってらっしゃるというところでございますので、８０％までもう一歩の押し上げのところかなと感じております。しかしながら、現在のアンケートの数値をみますと、かなり皆様の各分野でのご尽力により食育という言葉も市民の皆様に伝わり、また食事のバランスにかなり気をつけている方が増えているのかなというふうな印象を持ちました。

事務局からは以上でございます。

○南会長　　ありがとうございました。膨大な資料で、みなさん、理解するのが大変かと思いますが、何かご発言がありましたらお願いしたいと思います。

○松井委員　　松井です。立派な調査だと思うのですが、これだけのことを回答してもらったので、このアンケートの結果について、どうわかりやすく市民の方にご報告をするのかがとても必要かなと思います。あるべき姿と現状の姿というものが、どういう形がよいのかわからないけれど、わかるような形で是非アンケートの結果を出していただきたいなというのがひとつと、小中学生の調査なのですが、これは小金井小と小金井中、学芸大学附属の小学校なのですか？

○平岡係長　　はい。学芸大学と公立の学校です。

○松井委員　　あえて学芸大学の小中学校を半分選んでいるというのは、どういう意図でしょうか。全校の調査ではないのですか？

〇平岡係長　　公立の全校調査はご協力いただくのがちょっと難しかったというのがございます。

〇松井委員　　学芸大の小学校や中学校だとすると、小金井市民は３割もいないと思うのですが、これで小金井市の小中学生の調査という形になるのかというのは疑問に思うのですが。

〇平岡係長　　お住まいが小金井市ではない子どもを分母に入れるというところですね。

〇松井委員　　そうです。実際、市民は２割か３割だと思うのですよね。そうすると、小金井市民の調査という形にはならないと思うのです。小学校にしても通学時間もだいぶ違いますから、そうすると例えば朝食をとる時間とか、そういったものもなかなかハードルが高くなっている訳なので、調査結果としてこれが正しいのかなと若干疑問に思います。

〇南会長　　これは、実は、N数があまりにも少ないと、いわゆる正しい結果が得られるのかなということで、ちょっとお願いしたようなところもありまして。ひとつはN数を増やす、結果的には協力してもらったのは１校ずつという形だったのですね。

〇松井委員　　比較調査ですよね。ある程度いろいろなところから通っている子と市内の子と分けて、結果出してもらえればいいのかなと思います。

〇南会長　　やはりちょっと傾向が違いますので、これから解析を分けてしてもよいかなと思っています。今回は、とりあえず結果を今ここで出したのですが、詳細の結果は委託ではそこまでやってもらうという訳にはいかなかったので、私の方の卒論生か修論生に国立と公立の比較という形で、別にやってもらおうかとは思っています。

〇松井委員　　学校に協力をしていただけないというのはどういう理由なのですか。小中学生の方はそれほど設問数もない。市としては、食育というものに力を入れようという政策なのですよね。そうすると、全学区とかでもやってもらって当然とは言わないですが、そのへんはどうなのかなと。

〇酒井委員　　酒井です。食育の審議会なので、現状どうしてそういう状況かということを委員の皆様にご説明した方がよいのではないでしょうか。その方がわかっていただけるのではないでしょうか。

〇平岡係長　　一応、小中学校のアンケートというところは、小金井市内にある学校というスタンスで今回はとらせていただいたというのが、まずひとつです。確かに公立と私立の学校でちょっと傾向が違うというところはあるかと思いますけれども、南会長が先ほどおっしゃったようにN数が少ないと、数値の割合の正しさなども違ってくるというところで、小金井市内の小中学校というくくりで今回はとらせていただきました。この数字を、公立私立で市として発表するかというのは一定の意見があるところだと思いますので、そこは今後検討をさせていただきたいと思っております。

庁内では、一応、関係課と調整をしまして、アンケートにご協力していただける学校ということで、お忙しい中協力をしていただいたところであります。やはり分母が増えれば、それだけ正しい数値が出るというところで、またより好ましい結果も出るというところもあ

るかと思いますが、今現在の現状で、ご協力をいただけたというところがこの分母でございました。

また、庁内の方でこの結果をお示した上で、次回のアンケート等でさらに分母がひろげられるようにご協力をいただけるよう、庁内での働きかけも強化していきたいと思っております。

○鳥羽委員　鳥羽です。今の子どもたちのアンケートと関係するのですが、一般市民の調査の回収率が４０％というのはあまりにも低いので、ちょっとびっくりしてしまったのですが。問題はすごく充実してよい内容なので、3回目ということなので、前回はどのくらい回収率のパーセンテージがあったのですか。

○平岡係長　前回も同じ4割、４１．８％です。

○鳥羽委員　そうですか。思ったよりは回収率が、戻ってくるのが少ないような感じがして。

○平岡係長　アンケートの調査ものといたしましては、この数字は低くはないと思います。

○鳥羽委員　そうなのですか。

○平岡係長　忙しい中、ご協力をいただくとしては。

○鳥羽委員　アンケートの内容が多すぎて回答しにくいと書いていた人もいたので。１つの問題にしても、2、3と細かく分かれているので、夜に仕事が終わって書かれるのは辛いものがあるかなと見ていて思ったりしたのですけど。これからのことですが、回収率をあげるための改善策というのも考えていらっしゃるのでしょうか。

○平岡係長　やはり指標等の一定の評価をしなければいけませんので、ある程度、問題の方は、たたき台の中での絞り込み等は検討をさせていただいたところであります。ただし、アンケート用紙がかなりつまってしまったとか、見にくさがあったかもしれませんので、また次回アンケートをとる時には、アンケートの項目数を減らせるかどうかも含めて検討しながら、もっと指標を絞る等していかなければいけないのかなというのはあるかもしれません。

○鳥羽委員　集計も大変だったので、本当に頭が下がる思いなのですが、今後とも頑張っていただきたいと思います。

○平岡係長　ありがとうございます。

○南会長　私が以前、保育園にアンケート調査をしたのですが、その時は２７％でした。確か、小金井市だったと思います。大体それぐらいが普通だと、大学の方は言っていましたので、4割はよい方だと思います。

○松嶋委員　松嶋です。誤植かと思われるので、５８ページの８番の文章で、「あまりそう思わない」が３２．５％、3番目にも「あまりそう思わない」が１８．３％とあります。これは誤植ではないでしょうか。「思わない」が１８．３％ですよね。

○平岡係長　そうですね。失礼しました。「あまりそう思わない」ではなくて「思わない」

が正しいです。

今、５８ページの問３７の解説の「全体では～」の１行目のところの後ろの「２９．３％、」のあと、鍵カッコの中は「あまりそう思わない」ではなく「思わない」ですね。すみません。大変失礼しました。

○松嶋委員　もう１点、私がわかりにくいと思ったのが、２４ページの問１４「（ごはん、パン、めん類など）を１日に合計でどのくらい食べていますか」という問の「３つ分」とか「４つ分」の「つ」というのが、どういう単位なのか。例えば、めん類１杯を１つと考えるのか、パン１つを１つと考えるのか、何をもって１つと考えるのか、ちょっとわかりにくいなと思いましたので、それはどういう換算なのでしょうか。

○田中主任　９６ページの調査票の中にはあるのですが、「１つ分」「１．５つ分」「２つ分」といったように、南先生にご相談して、一応市民がわかりやすいような炭水化物量の表記ということで決めさせていただきました。報告書の方にもこの図がないとわかりづらいと思うので、入れたいと思います。

○松嶋委員　そうですね。問題文には何を１つ分にする、例えばおにぎりを１つ分にすると書いてあったということですね。

○田中主任　はい。ご指摘いただいたところは、わかりやすいようにして、この例の図を報告書の方にも載せたいと思います。

○松嶋委員　宜しくお願いします。以上です。ありがとうございました。

○鈴木委員　鈴木です。アンケートを見ていて、凡例の模様の見分けがつきにくく、同じに見えたり判別がつきにくかったりするので、この四角をもう少し大きくすると見やすくなると思います。

○南会長　今回はカラーですか。

○平岡係長　申し訳ありません。印刷の経費の関係でカラー刷りはちょっと難しいです。

○南会長　例えば、ホームページとか市報に載せるときは、見やすく身づくろいをしてくださるという形になりますかね。

○平岡係長　はい。ちょっとカラーは難しいので、見やすくなるように検討します。

○高木委員　高木です。例えば４２ページや４３ページのグラフの色分けがちょっと見づらいなと私も感じて、隣り合わせのものは、色を、大まかにいうと黒っぽい色、白っぽい色とかにした方が見やすいのかなという印象は受けました。以上です。

○平岡係長　すみません。ちょっと色分けは難しいので、業者の方もすごく工夫をしていただいて、模様分けをしたところなのですが、もう１度なるべく見やすいようなレイアウトがないかを考えたいと思います。

○南会長　バーの幅がもう少し太いだけでも見やすくなるかもしれないですね。

○平岡係長　そうですね。項目が多いのでサイズの関係もありますので検討したいと思います。

○南会長　はい、ありがとうございました。

〇高木委員　　もう１件よろしいでしょうか。アンケート内容はとてもよくできているのですが、やはり項目が細かく分かれすぎていて、回収率が減ったという事実はあると思うので、アンケートに対して、例えば分担じゃないですが、これを全部回答すると相当時間がかかると思うのですね。なので分けるのは難しいと思うのですが、性別や職業、年齢別、すべて聞いているので、それをまた何か分化したりうまくできたらなというのは感じていました。以上です。

〇平岡係長　　アンケートで答えの方の分母を変えてというのは、アンケートの集計の制度上なかなか難しいとは思います。ただ答えやすいような工夫というところでは、していかなくてはいけないと思いますので、今後の検討とさせていただきます。

〇雀部委員　　雀部です。アンケートも第３回になってきて、大体、小金井市民が目標を達することがほぼ出来ているではないかという判別が出来ているものについては、今後はやってもほぼ変わらない結果が出てくると思いますので、例えば急激に何かが変わるというものではないものについては、もう省略していく時期ではないかなと思います。それでも半分くらい、もしかしたら３分の１から半分くらいは分量が減っていくのではないかなというふうに思います。そして小金井市として力を入れたい項目については、変わらず調査をしていく、追跡調査をしていくというふうに、ちょっとメリハリをつけた方がよいかなというふうに思いました。やはり一生懸命やっていけばやっていくほど項目も増え、でも集計が大変でそれに時間を割かれてしまうのはとても大変なことなので、今後そのへんは精査していくべきかなというふうに思います。以上です。

〇高木委員　　高木です。ちょっと誤字なのかがわからなかったのですが、３１ページの問１８の１行目「パン類（サンドイッチ、菓子パン、おにぎり、)」とあるのですが、おにぎりがパン類になるということですか。

〇平岡係長　　「パン類等」あるいは「主食等」など、「パン類」という形での表現は変えたいと思います。すみません。ありがとうございます。

〇南会長　　他にいかがでしょうか。

〇島崎委員　　島崎です。たくさんの調査とたくさんの分析ということで、ありがとうございました。小学校の分母についてなのですが、調査時期が７月４日から１５日というその時期は、学校的には学期末で通知表をつけるとか、実はとても忙しい時期なのですね。小学校は、他の時期でも、例えばスポーツテストとかいろいろなアンケート調査ものがちょこちょこあるのですけども、もうちょっと前もってというか、時期を少し変えるか、もっと事前に、早目早目にしたほうがいいかと。たぶん校長会を通してくれたと思うのですが、そこを通す時期を少し早目に予告していただけると、もしかしたら、もう少しいくつかの学校が答えてくれたかなと。やはり調査で学校数４校だと、これで判断するのには心細い数字かなという気がしましたので。その時期のことを次回、何年後かされるときに、検討していただければと思いました。

〇平岡係長　　すみません、こちらの計画が予算上の関係で、２か月ずれこんでしまったと

いうところもございまして、かなり関係の皆様には大変な思いをさせてしまって誠に申し訳なかったと思っております。本当に申し訳ございませんでした。次回はきちんと事前に準備をしまして、なるべく早く関係のご協力をいただける方々には情報を提供しながら、なるべくご迷惑をかけない時期に実施して参りたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

○南会長　　確かにそうですね。最初は予算が下りるか下りないか、ちょっとわからない状態でしたので、なかなか依頼ができなかったという状況です。

他にありますでしょうか。

○廣繁委員　　廣繁です。「小金井らしい食生活」を達成できているかを把握し、食生活の実態を明らかにすることが、今回の調査目的になっていると思います。

現在の計画では、「小金井らしい食生活とは」が「野菜」「団らん」「触れ合い」「環境」をキーワードに書かれていると思うのですが、この調査結果のまとめかたとして、そうした視点を入れて概要版などの形になると、市民の方に「小金井らしい食生活」の状況をお伝えしやすいのかなと思いました。以上です。

○南会長　　はい、ありがとうございます。

他にありますでしょうか。

○鈴木委員　　鈴木です。このアンケートをみると、体型別ですとか、職業別とか、年代別で特徴が出てくると思うのですが、そういうことをまとめたりすることはないのでしょうか。

○平岡係長　　一応、何項目か、クロスの集計をかけまして、どういう特徴が出るのかというところをお示しできたらとは思っております。

今現在、取り急ぎ、アンケートの集計結果を皆様にご報告したというところでございますので、これをどう計画に反映させていくかというところは、今後は、これ以降の会議でということになると思います。

○鈴木委員　　ありがとうございました。

○南会長　　他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

事務局の方でクロス集計をして、新たな結果が見られましたら、ここの審議会にあげていただいて、広報なりホームページなりで、この食育推進会議の存在と今回のアンケート、それから、私がよく言っているのですけれど、食育基本法について市民の方に知ってもらうのが大事かなと。食育基本法で定められているようなことに従って、今回こういう審議会もあり、こういうことをやって、小金井市民が今どの辺にいるというような形をお知らせするもの、そして、もう少しこうすればよいといったサジェスチョンも与えていただけると、アンケートに答えなかった方、アンケート調査票が来なかった方に対しても、アナウンスになるのかなと思います。宜しくお願いします。

では、この件についてはよろしいでしょうか。

では次に、今後のスケジュールについてです。事務局の方からお願いします。

〇平岡係長　すみません、こちらの議事進行がちょっと遅くなりまして、時間が押してしまい誠に申し訳ございません。議題の２と３の「今後のスケジュール」と「計画策定に係る施策実施状況」ということで、一緒にご説明させていただきたいと思います。

策定スケジュールにつきましては、第１回目の前回の審議会でお配りした資料と同じものを机上に配布させていただいております。次回は、お忙しい中大変申し訳ございませんが、１２月の半ばぐらいに１度お集まりいただきまして、こちらで素案の方のお示しをさせていただければと思います。事前資料として、ぎりぎりになってしまうかもしれませんが、アンケートの結果が出ましたので、早急に計画のたたき台に着手し、素案の方を示させていただきまして、出来れば年明けすぐにパブリックコメントを実施させていただき、計画案の修正に入らせていただいて、３月に入って審議会より計画案の答申をさせていただくというかなりタイトなスケジュールにはなってございますが、皆様のご協力を得ながら進めていきたいと思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

では続きまして、「小金井市食育推進計画策定に係る施策実施状況」の調査票をご覧ください。こちら、字が小さくなりまして大変申し訳ございません。こちらの方は、一応、前回進捗状況調査で各事業の方は一巡してご説明を駆け足ながらさせていただいたところでございます。各事業が概ね継続というところなのですが、継続以外の今後の展開を考えている事業をピックアップいたしまして、ご説明をさせていただきたいと思います。

まず、一番左側に番号を振っておりますので、その番号で事業番号を示してございますので、その番号で追っていただければと思います。

１枚おめくりいただきまして、１２番の健康課で実施しております「両親学級」でございます。この両親学級の中では、離乳食に関する質問と食事の質問がやはり大変多くなってきてございます。妊婦さんがご自身の体調管理と栄養バランス、何を摂ってよいのかというところと、生まれてきた赤ちゃんの育児のその後の食事のことについてと、不安を抱えてらっしゃる方が多いのが実情でございます。土曜日クラスの方がかなり混み合っておりまして、キャンセルでお待たせをしているところなので、平成２９年度以降は内容を見直し、何とか受け皿を拡大できないかということで、内容拡充を図って参りたいと思っております。

続きまして、下のページの１４番の健康課事業の「乳幼児食育メール」でございます。こちらは、なかなか保健センターに足を向けることが難しいけれど、お子様の食事の問題でかなりご不安に思っている方を対象に、メール登録をして、希望者の方に食育メールということで乳幼児の情報を配信しているところでございます。こちらはさらにメールの内容等で付加価値をつけまして、より多くの方に興味を持ってご登録いただけるような内容の拡充を図っていきたいと思っております。

続きまして、その下の段の１７番の「乳幼児保健相談」でございます。こちらの方も実際に貫井南センター等の各地域のセンターで乳幼児の栄養相談等もさせていただいてございます。その中で、保健師や管理栄養士などの専門職が質問内容に対して、専門的な知識で細やかな対応ができるような体制を組めるように拡充して参りたいと思っております。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、ごみ対策課の方から事業の変更の提案がございました。６３番、６４番でございます。６３番の「野菜収穫体験」では、食品リサイクル堆肥を使って育てた野菜の収穫体験を行うことによって、食品ロスの問題ですとか生ごみから循環型社会の食生活ということで、小金井スタイルの柱となっている事業でございます。こちらの方は、さらに対象者の拡充を行い、充実を図っていくというところで、その下の「子どものための農家訪問ツアー」をこちらに吸収をさせていくというところで、事業を野菜収穫体験の方に拡充してシフトしていくということで、提案がございました。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、６９番以降でございます。こちらは食育関連団体の活動調査、登録制度でございます。こちらは事前に会長、副会長また委員を代表した方にお話を伺わせていただきご意見を承りました。今、食育団体制度はホームページ上で登録をしていただくということで、掲載をしているところでございますが、こちらがおそらく１０年近く前から始まった周知方法でございまして、その団体の中でももう既に活動をされていない団体等がございます。また、市のホームページに個人の連絡先等が載っている状態で、この登録制度の在り方というものを見直す時が来ているのかなと正直感じております。この登録制度ですが、例えば他の団体で、子どもに関する団体ですとか、そういった活動をされている方に登録制度についてお声掛けさせていただきましたところ、やはり食育を常に柱としてやっている団体ではなくて、その大きな活動の中のひとつとして食育に携わっている団体等になりますと、新たに食育団体として登録するのはハードルが高すぎるというところで、お断りをいただいているところなのですね。ですので、そうではなくて、食育ホームページ等、例えば、食育の小金井市のフェイスブック等が立ち上がっているところでございますので、様々な団体が食育にかかわる分野の一分野として、情報を提供したり情報をとりにいったりと、もうちょっと緩やかな情報の繋がり方ができるのではないか、その方が情報のネットワークが広がるのではないかということで、会長や副会長等にご意見を承りました。今回、食育コーディネータができたということで、まずは個人の情報をホームページ上にいきなり掲載して登録団体制度という形にするのではなく、食育の情報や何かお困りなことがあったら、食育コーディネータにご相談くださいということで、食育コーディネータの庶務の担当でございます健康課の方で情報を一度いただき、それについて必要な方にその情報をつなぐ、あるいは依頼をするということで、行政の方を是非活用していただいて、今のようにいきなり個人のメールアドレスや電話などが載ってしまうような制度の在り方をちょっと見直したいというのが、今回のご提案でございます。その意味も込めまして、今回団体登録制度の方は、方針の変更というところで載せさせていただきました。これに代わって食育コーディネータに是非ご相談くださいということで、ホームページでアップして食育コーディネータの存在をさらに市のホームページでアピールしていくという形にシフトしていけたらと考えてございます。

また、７７番の「食育懇談会」でございます。こちらは少し個人的に意見を伺ったところ、食育の分野があまりにも広すぎて様々な視点で活動をされている団体様が多く、正直申し

まして、その団体ごとで独自の視点があった場合に、できればつながる団体を選択したいというご意見もございました。その関係で、いきなり食育懇談会で集まって話そうということではなくて、つながりたいところとつながりたいところで懇談をもつという形で何かもう少しコーディネータを使った調整の力が発揮できないかというところで、こちらの懇談会の在り方も皆様とご相談させていただきながら、検討をしていきたいということで、今回方針変更ということであげさせていただいたところでございます。

あと、７８番の「大学等との連携推進」でございます。こちらは、２７年度は、南先生等のご協力を得まして、ミニパンフレットの内容を拡充しまして新たに作成し、若年層に配布できるような内容に変更をいたしました。今後、こちらを市内の小中学校や大学と連携し、若い世代にパンフレット等を配布したり、また実態調査の意見を聞く場を設けさせていただいたりと、若い世代が今どう考えているのかの調査と周知方法等を拡充していきたいということで、今後の展開を充実とさせていただいたところでございます。

調査票の説明については、雑駁ではございますが、以上でございます。

○南会長　　どうもありがとうございました。

ただいまの説明に対して何かご意見ございますか。

○平岡係長　　すみません。あと１点、食育の施策に該当する事業ということで、別紙でつけさせていただきました。こちらは公民館でもともとやっている「親子とうもろこし作り」ですが、以前から事業としてやっていたのですが、食育推進計画の方で触れられていなかったので、今回、計画の方では新たな事業というところで、こういった取組もしているということで、追加でつけさせていただきました。以上でございます。

○南会長　　どうもありがとうございました。

では改めまして、ただいまのご説明に対して何かご意見、ございますでしょうか。

○雀部委員　　雀部です。食育関連団体の登録制度と活動調査と食育懇談会についてなのですが、以前は食育コーディネータという仕組みがそもそもなかったということで、まず市内で食育活動をされている方たちを吸い上げて、どういう活動をしているのかを知る意味で最初は始まったのかなというふうに思います。何も完全にやめてしまうということではなくて、その食育活動されている方をコーディネータがきちんと把握をして、一番大事なことは、小金井スタイルを地域展開するという主目的がありますので、やはりその活動が市民に広く知られて、その活動に参加したいと思う方がいらっしゃったらつなぐとか、活動同士をつなぐとか、食育に関して困っている方がいらっしゃったら活動を紹介するとか、そういうことが一番市民にとっての利益になるかと思いますので、団体の方の個人情報を広く載せるわけではなく、コーディネータ預かりにして、そこで一元化してそこからいろいろな展開をしていくというのが一歩進んだ形になるのかなというふうに思います。ただ単に廃止とか方針変更ではなくて、一歩進んだ形になってきたのかなと思います。その代わり、食育コーディネータの活動については広く紹介すべきで、せっかくですから平成２７年度の活動実績も６件ありますので、どういうところから依頼が来てどういうことを食育コーディ

ネータとしてやりましたというのを、食育ホームページで紹介するのが一番早いかなと思いますので、広く周知していくのはむしろここに力を入れていくべきかなというふうに思います。以上です。

○南会長　　ありがとうございました。事務局の方でも検討していただけますでしょうか。

○平岡係長　　はい、食育ホームページの編集委員会の皆様にご相談をしながら、コーディネータの活動実績といった形で載せてくださいということで、準備を進めていきたいと思っております。

また、先程、雀部委員からも意見を頂戴いたしまして、小金井市のホームページに今は団体の個人名等の連絡先が載っている状況ですので、それはいったんストップさせていただきまして、食育コーディネータを是非ご活用くださいということで、ページの更新をさせていただけたらと思っております。

○南会長　　ありがとうございました。よろしいでしょうか。

○雀部委員　　はい。

○南会長　　では他にご意見がある方はいらっしゃいますか。

○酒井委員　　酒井です。先程ご説明があった１４番の「乳幼児食育メール」なのですが、これはとても良い試みだと思うのですが、誰でも申し込みＯＫですか。その前のパートナーと受ける「両親学級」がありますが、こういう時に、例えば両親が食育メールのお申し込みをされるということはないのですか。ママだけではなくパパも一緒にどうですかというお誘いとかすると良いのではないかとちょっと思ったので、どうでしょうか。

○田中主任　　特に母親限定という訳ではございません。検診時に広くチラシを配布して、ＱＲコードなどもあり、その場で登録できるようになっていますので、お父さんも登録されている方もいらっしゃいます。

○酒井委員　　例えば、子育てに関係がない私でも申し込めるのですか。

○田中主任　　内容は０歳～1歳の保護者、２歳～３歳の方の保護者、４歳～5歳の保護者という形で、カテゴリーは分かれているのですが、関係者の方も登録されている方はいらっしゃいますので、登録できるようになっています。

○酒井委員　　それをもう少し周知していただいて、パパやおじいちゃん、おばあちゃんもどうですかとすれば、皆さん見てくれるのではないかなと思います。

○平岡係長　　市報で、ＱＲコードを載せたものを何回かあげて周知はさせていただいております。

○酒井委員　　では、安心安全メールと一緒で自分でやればＯＫなのですね。

○平岡係長　　そうです。

○酒井委員　　わかりました。ありがとうございます。

○南会長　　ありがとうございます。他に何かございますか。

○高木委員　　高木です。項目１２番の「両親学級」のことでちょっと伺いたいのですが、

ゆりかご事業でも似たような内容の事業を年に１度、今までは０歳の子どもを持つ母親向けだった事業を１回だけプレママ、プレパパ向けに実施しているということを伺ったのですが、そのへんは連携をとられているのでしょうか。

○平岡係長　　ゆりかごさんでやっているのは、おそらく定員が少ないところがあるかと思います。私どもがやっているのは、あくまで保健衛生事業でございますので、保健衛生の観点から専門職が対応しているというところで、少し事業の内容に違いがあるかもしれません。

○高木委員　　そうですか。特にそれは別個やられているということですね。

○平岡係長　　そうですね。あくまでも母子保健法に基づいたところで実施させていただいております。

○高木委員　　わかりました。ありがとうございます。

○南会長　　ありがとうございます。他にいかがでしょうか。もし後で何か気が付かれましたら、１１月１０日くらいまでに事務局の方にお問い合わせください。

○佐久間委員　佐久間です。すみません、１つだけいいでしょうか。先程、雀部委員からも食育コーディネータについてのご意見を頂戴いたしました。事務局の方からもご答弁を申し上げたところでございますが、やはり情報の一元化、それから情報配信、情報収集、そういったところに食育コーディネータ、私が勤めておりますので、私の方で重々わかってこれからも活動したいと思いますので、その存在をやはり皆様に知っていただくことは非常に大事だと思っております。福祉保健部長が担うということは、職務として、特に庁内の連携であるとか収集であるとか、情報を収集したものをつなぐであるとか、そういったことにおいては一番便利なのですね。対外的にも様々な団体の方と交流がございますので、そういった方との交流を通じていろいろな情報をつないでいくということが一番やりやすいだろうとことで、福祉保健部長が決まったと思っておりますので、是非皆様に知っていただくことを十分に行って、是非活用していただきたいというのが私からのお話でございます。

それから、実施状況調査票、これは多分会議資料として外に出ると思うので、「今後の展開」の右から３番目の欄に「廃止・方針変更」とありますが、これは両方の内容が混じっていて、殆どが恐らく方針変更だと思うのですよ。ごみ対策の部分はちょっと考えるところがありますが、吸収されるということで、例えば６４は廃止で６３に統合するとか、そういうことになるかと思うのですが、両方入ってしまっているので、廃止なのか方針変更なのかということはわかるようにしていただければと思います。

それから同じ表で右から２番目の「今後の展開について」のコメントの理由のところ、これは全部文字が入っていないので、きちんと文字が入るようにしていただければと思います。以上です。

○南会長　　ありがとうございました。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

本日の議題は以上なのですが、次回については先程１２月中旬というお知らせがあったと思うのですが、それでよろしいでしょうか。

○平岡係長　はい。

○南会長　何か事務局の方で追加することはありますか。

○平岡係長　はい。では、今日いくつかご紹介をさせていただきたいものがございますので、まず「農業祭」について渡辺委員の方から紹介いただけますでしょうか。

○渡辺委員　こちらの白い方のチラシとポスターですね。こちらに小金井市の農業につきまして年に１回の一番の祭典となります農業祭が開催されます。日時が１１月１２日午後１時から午後４時、１３日の日曜日が午前９時半から午後２時半までの間に開催されます。１２日の午前中の方は農業祭とは全く別に品評会というのが開催されます。こちらは、今回できた農作物の順位がつくというところで、また会場内には都知事賞を誰がとったかとか、そういうものが並びますので、是非ご覧いただければと思います。こちらチラシの方なのですが、こちらには催し物等の内容も書いてありますので、お時間がございましたら、是非お寄りいただけたらと思いますので、宜しくお願いします。会場はイトーヨーカドー前のフェスティバルコートと宮地楽器ホールとなります。以上です。

○南会長　ありがとうございました。

○平岡係長　続きまして、島崎委員からお願いします。

○島崎委員　島崎です。口頭でのご案内になってしまいますが、小金井市の栄養士会食育団体で毎年講演会を行っているのですが、今回は１２月１５日に第一小学校のミーティングルームで行う予定になっております。テーマ、演題は決まっていないのですが、練馬区で１００年以上味噌作りを手掛け、家族でやっている味噌工房なのですが、その社長さんにおいでいただいて、どういった内容になるかまだわからないのですが、味噌を中心としたテーマでお話していただくことになっております。まだ文書ができておりませんので、文書ができましたら、また皆様に介護課を通してのご案内になると思いますが、よろしければおいでください。以上です。

○平岡係長　では残りのチラシなのですが、菊谷先生からお預かりしました「小金井・武蔵野地区の食事に係る地域資源情報を検索できます」ということで、介護食のご案内のページのＱＲコードが載ったチラシでございます。こちらと、１１月１２日から１３日の東京都食育フェアのチラシがありますので、是非ご覧になってください。また、お手元に食育計画の骨子案を配布させていただきました。前回、会議の際にご説明した通り、都や国の計画も第２次とあまり大きく変わるという方向性ではなく、国と都と同じような形で、第２次を踏襲した形での骨子案という形で作らせていただいてございます。ただ皆様、実際にたたき台の文書を見ないとなかなかイメージがつきにくいところもあるかと思いますので、なるべく早くたたき台の方をお示しして、皆様のイメージがつきやすい形でご提案ができればと考えてございます。会長からもございましたが、何かご意見等ある場合は、１１月１０日までに、今日の会議含めまして、いろいろご意見を頂戴できればと思ってございます。以上でございます。

○南会長　ありがとうございます。今の発言に何か付け加えることなどありますでしょ

うか。よろしいでしょうか。

○當麻課長　　ちょっとよろしいですか。健康課長の當麻でございます。今日は本当に皆様、お忙しいところをお集まりいただきましてありがとうございました。今年度につきましては、当初予算が下りないという状況もございまして、２か月遅れてのスタートになりました。そうした形の中で、皆様には本当にタイトなスケジュールの中でご協力をいただいていることは本当に感謝しているところでございます。今日もいろいろなご意見を頂戴したところでございますが、事務局といたしましては、これを真摯に受け止め、そして今後の食育推進に反映させていきたいと思いますので、是非とも今後ともご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

○南会長　　ありがとうございました。

○鳥羽委員　　いいですか。都民フォーラムの講座を受けてきたのですが、健康食品との上手な付き合い方の資料が４部ほど手元にございますので、欲しい方がいらっしゃいましたら、帰りにおっしゃってください。宜しくお願いいたします。

○南会長　　他に何かご発言がある方ございますか。事務局もよろしいでしょうか。

では、皆様、膨大な資料、大変だったと思いますが、またお家に帰ってから見ていただいたりして、今後の方針をどのようにしたらよいかなどの参考にしていただけたら幸いです。

では、これで平成２８年度第２回小金井市食育推進会議を終了したいと思います。皆様、お疲れ様でした。

―了―